



増やされた基金積み立て

	2010年度末	2011年度末
○財政調整期金	65億4795万円	76億2803万円
○減債基金	5億6731万円	14億6522万円
○都市環境整備基金	5億8822万円	13億8822万円
○公共施設整備基金	4億0000万円	7億0103万円
○その他の基金	57億6756万円	60億7111万円

「歳入を固く見積もった」といって
います。地方交付税が当初予算60億円
に対し5割（39
億円）増、たば
こ税が4割（4
億円）増、法人
市民税が25%
（5億6千万
円）増と、固く
見積もった成果
が随所に出て予
算を大幅に上回
りました。
市民がこれほ
ど困窮している

震災、不況、円高の中でも増やした基金31億円

9月3日から28日まで定例市議会が開かれ、昨年度決算などが審議されました。今議会は長谷田議員が一般質問を行いました。

3月の大震災による建物の被害、放射能被害や風評被害。さらに円高不況と昨年度の市民生活と経済は大きな困難に直面しました。そんな中で伊勢崎市は、財政調整基金を10億円、減債基金を8億円、都市環境整備基金を7億円、公共施設整備基金を3億円など、31億円も市財政の貯金にあたる基金積み立てを増やしました。なぜそんなに増えたのでしょうか？

ときでも「財政が大変」と、くらし・福祉の予算を削り、やるべき仕事をやらすひたすらため込む市政です。市長公約の「暮らし最優先の市政」ではなく、「ため込み最優先」になってい



ため込み

文部大臣から要請書 学校耐震化遅れている137市町

大震災を教訓に子ども達の安全を早急に確保するよう求めました。

文部大臣から、伊勢崎を含め学校耐震化の遅れている137の市町村に、耐震化促進を求める要請書が届きました。伊勢崎は幼稚園耐震化が特に遅れていることが理由です。



耐震化が急がれる施設

■大地震（震度6以上）で崩壊倒壊の危険性が高い施設

豊小体育館	Is値0.15
境東小体育館	0.17
名和小体育館	0.18
境西中体育館	0.29
以上は今年度改修予定	
■崩壊倒壊の危険がある施設	
殖蓮第二小体育館	0.30
第三中体育館	0.30
名和幼稚園園舎	0.33
赤堀幼稚園園舎	0.38
あずま幼稚園園舎①	0.38
あずま幼稚園園舎②	0.38
赤堀小校舎	0.39
その他Is値0.7未満	

21施設

園が0.33、赤堀幼稚園、あずま幼稚園が0.38とそれに近い幼稚園がたくさん残されています。「文科省が倒壊する危険性がある」と評価している、Is値0.3以上の施設について伊勢崎市は「比較的耐震性が高い」と勝手に決めて改修を後まわししてきたためです。

文部大臣から指摘を受けても二〇一四年以後の改修予定と、まだ先延ばしする計画です。

「学校がこわれるような地震が起こることはない」という認識が、耐震化の遅れの原因と文科省が分析しています。まさにその通りです。